

令和7年度AIオンデマンド交通 実証運行の結果について

令和8年3月24日（火）

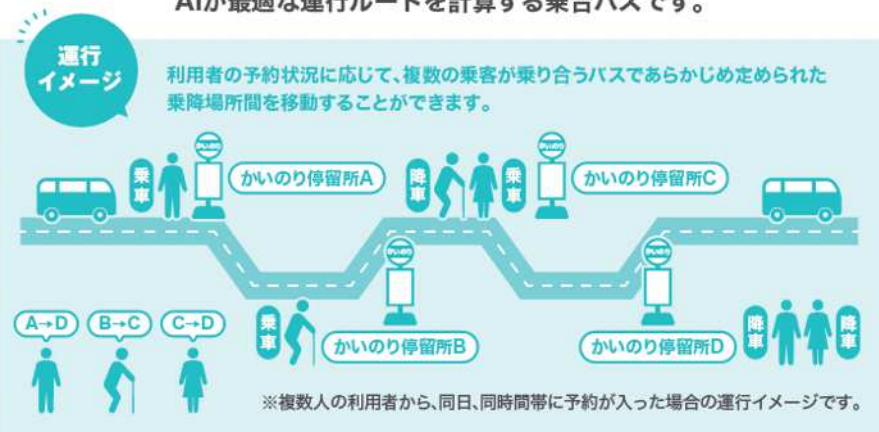
甲斐市地域公共交通会議 事務局

1. 実証実験の概要
2. 利用実績
3. アンケート結果
4. 今後について

1.実証実験の概要

事業イメージ

路線バスのように決まった運行ルートがなく利用者の予約に応じて、AIが最適な運行ルート进行計算する乗合バスです。



運行期間

令和7年10月1日（水）から令和8年1月10日（土）
（日曜日・祝日・年末年始は運休） 79日間

運行時間

午前7時から午後7時（19時）まで

運行エリア

甲斐市内全域

移動のルール

市内全域を旧町3エリアに分類し、エリア内の移動は自由とするが、エリア外に行く場合は、モビリティハブを経由する

運賃設定

利用料金	6歳以上18歳以下	19歳以上	6歳未満
通常料金(エリア内の移動)	300円	400円	無料
乗継料金(エリアを跨ぐ移動)	400円	600円	
障がいがある方	上記各料金の半額となります。 障がい者手帳の提示が必要です。		-
運転免許証を返納した方	上記各料金の半額となります。 運転経歴証明書の提示が必要です。		-

予約方法

コールセンターとウェブでの予約

電話予約(コールセンター)：午前9時から午後5時まで(平日のみ)

Web予約：24時間予約可能

市民バスの運休

AIオンデマンド交通実証期間中、定時定路線バス一部運休

【運休路線】

敷島北部線(大明神・安寺方面) (平見城・下福沢方面) (敷島仲町方面)

双葉北部線

1.実証実験の概要

周知方法

甲斐市広報誌や甲斐市HP、駅や公共施設へのポスター掲示、また全世帯に「かいのりガイドBOOK」を配布により、AIオンデマンド交通「かいのり」の実証実験を周知した。

今年も「かいのり」実証運行が10月1日からスタートします

「かいのり」とは、利用者の予約に応じてAIが最適なルートを選択して運行する予約制の乗り合いバスです。10月1日(水)から、実証運行がスタートします。会員登録をすればご利用いただけます。高い効率・高品質・低コストを実現することで実現いたします。

運行期間 10月1日(水)～予定6年1月10日(土)
運行曜日 祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は運休
運行時間 午前7時～午後7時
運行エリアおよび移動のルート
 市内全線を3電王3双葉3双葉の3つのエリアに分けて運行します。
 なお、別のエリアに移動する場合は、セビリティハブ(乗降拠点)での乗り継ぎが必要です。

1日乗車料	6歳未満	6歳～19歳	19歳以上
エリア内移動	無料	300円	400円
別エリアへの移動	無料	400円	600円

利用方法
 ①会員登録 インターネットまたは、印刷用紙
 ②予約 インターネットまたは、印刷用紙
 ③乗車 予約したバスで待つ乗降所に会員登録または氏名を伝えて乗車

甲斐市民バスの運休
 甲斐市民バスの運休を決定するため、「かいのり」実証運行中、運休となります。
運行路線 甲斐北線(大宮～甲斐方面)・甲斐南線(甲斐～下野沢方面)・双葉3路線
運行期間 10月1日(水)～予定6年1月10日(土)

※詳細は、広報10月号と一緒に配布する「かいのり」実証運行マップまたは甲斐市HPをご覧ください。

申し込み・問い合わせ 甲斐市生涯学習課 055-278-1669

R07広報甲斐9月号掲載内容

甲斐市 AI オンデマンド交通

かいのり

— かいのりとは? —

これまで甲斐市では、ご高齢の皆様をはじめとする市民の大切な移動手段を守るため、「甲斐市民バス」を運行してきました。しかし、家の近くにバス停がない、行きたい場所までつながらない、時間が合わず乗れない、といった「移動の困りごと」は解消されていませんでした。そこで甲斐市は、誰もがもっと使いやすい「あたらしい形の公共交通」をつくることにチャレンジしています。—それがAIオンデマンド交通「かいのり」です!

AIオンデマンド交通とは?
 スマホやお電話で予約すると、ご希望の時間と乗り降りを希望される専用の停留所に合わせてAIが最適なルートを組み立てて走る乗合バス(複数人で移動をシェアする乗り物)です。

どなたでも利用OK
運行地域・停留所 市内全域に停留所を設置しています。各停留所は数島・電王・双葉の3エリアに分けられ、異なるエリアに属する停留所間の移動では乗り継ぎが必要となります。
運行時間 午前7時から午後7時。平日・休日・年末年始(12月28日から1月4日)は除く
利用料金 現金またはキャッシュレス決済による前払い制となります。

利用料金	6歳以上19歳以下	19歳以上	6歳未満
通常料金(エリア内移動)	300円	400円	無料
通常料金(エリア外移動)	400円	600円	無料

乗がいのりの方
 上記通常料金の半額
 障がい者手帳の提示が必要です

運転免許を所持した方
 上記通常料金の半額
 運転経歴証明書の提示が必要です

※同じ時間帯に他の予約がある場合は乗合となり、巡回になることがあります。時間に余裕をもってご利用ください。

お問い合わせ：甲斐市生涯学習課 まちづくり推進課 055-278-1669

周知用ポスター



かいのりガイドBOOK

WHAT'S NEW!
AIオンデマンド交通 かいのりとは?
 路線バスのように定まった運行ルートがなく利用者の予約に応じて、AIが最適な運行ルートで運行する乗合バスです。

運行期間
 ●10月1日(水)～1月10日(土)
 午前7:00～午後7:00
 運休日:日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

運行エリア
 ●甲斐市内全域(数島エリア・電王エリア・双葉エリア)
 ※エリア内移動は無料、エリア外移動は有料となります。詳細はガイドブックをご覧ください。

利用可能方
 ●どなたでも(ご高齢者、障がい者、外国人観光客など)
 ※運転免許を所持した方は半額となります。

利用料金	通常料金	障がい者半額	運転免許半額
1日乗車料	400円	300円	無料
エリア外移動	600円	400円	無料

お問い合わせ：甲斐市生涯学習課 055-278-1669

1.実証実験の概要

車両について

敷島エリアに2台(日産リーフ)、竜王・双葉エリアに各1台(日産セレナ)の計4台で運行した。
また、市民への本実証の周知も兼ねて、車両にシートを貼り運行中であることを示した。



かいのりステッカー



かいのり車両(日産リーフ)



かいのり車両(日産セレナ)

1.実証実験の概要

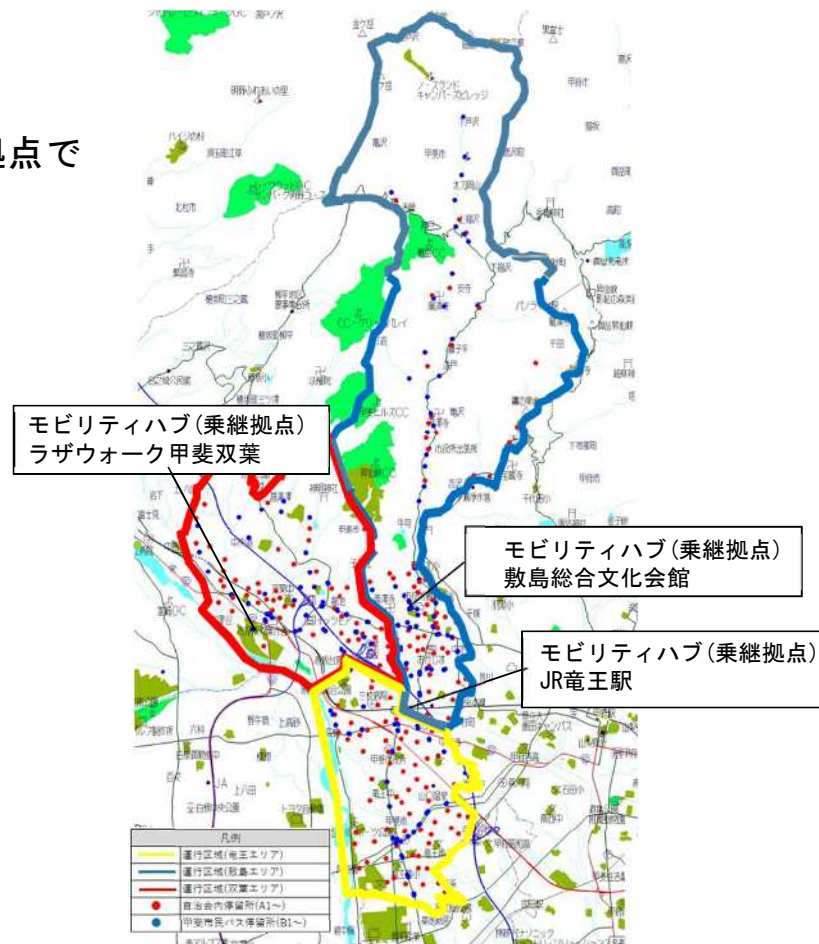
モビリティハブについて

モビリティハブとは、電車、バス、タクシー等のさまざまな交通の乗換を行う拠点であり、本実証では、右図のとおり、敷島総合文化会館、ラザウオーク甲斐双葉、JR 竜王駅南口をモビリティハブの設置場所とした。

各モビリティハブには、「市民バス」及び「かいのり」の位置情報を表示するデジタルサイネージ、モビリティハブの位置や目的を明示化する看板やパネル、待合い用のベンチなどを、設置場所の特性に応じて設置した。



ベンチと巻き看板デザインと設置の様子



かいのりのエリアとモビリティハブ

1.実証実験の概要

デジタルサイネージについて

AIオンデマンド交通と公共交通の乗換え等の利便性向上を目的として、モビリティハブにデジタルサイネージを設置した。山梨交通が運行する路線バス、南アルプス市のバス(竜王駅発着の便のみ)、甲斐市民バスにおいて、各サイネージが設置してある場所の最寄りバス停への接近情報やかいのり車両の位置情報を表示した。



デジタルサイネージ設置の様子

10:58 | 甲斐市内運行バス統合型サイネージ
Integrated for buses operating within Kai City

山梨交通	11:25	数島営業所 昇仙峡入口・天神森方面行き To Chosenkyo / Iriguchi Tenjimori	0	0	0
山梨交通	11:26	昇仙峡入口・天神森発 数島営業所方面行 To Chikichina Bus Office	0	0	0
南アルプス市	12:32	八田・甲西線 竜王駅～東花輪駅 Ryuo Station - Higashi Hanana Station	0	0	0
市民バス	12:42	竜王～双葉線 ラザウォーク甲斐双葉～JR竜王駅 Laza Walk - JR Ryuo Station	0	0	0
山梨交通	12:51	昇仙峡入口・天神森発 数島営業所方面行 To Chikichina Bus Office	0	0	0

AI オンデマンド交通「かいのり」
AI on-demand transportation "kainori"

AIオンデマンド交通「かいのり」
デジタルサイネージ表示デザイン

1.実証実験の概要

イベントへの出店

令和7年12月13日(土)に竜王駅イルミネーション点灯式の中でブースを出店した。

「もしもステッカー」という「もしも」から始まる設問に対し、参加者が自由記述形式で回答するアンケート手法を活用して、参加者より市民バス・モビリティハブ・公共交通に対する声を集めると同時に「かいのり」の周知を行った。

設問は、「甲斐市の移動をよりよくするアイデア」は次の3つとした。

- ・「もしも駅やバス停に、『 』があったら楽しい。」
- ・「もしも駅やバス停の待ち時間に、『 』ができたらうれしい」
- ・「市民バスが、『 』だったら便利」



もしもステッカー



イベントの様子

1.実証実験の概要

アンケート結果

「もしもステッカー」を用い、市民バス・モビリティハブ・公共交通に対する意見を集めた。全3種、計137件の回答があり、その内容を分類分けした結果は右図のとおり。

もしもステッカー回答の分類

分類	件数	構成
飲食	21	約15%
遊び・娯楽	18	約13%
商業・物販	18	約13%
快適性・環境(休憩・温熱・天候)	12	約9%
デジタル・電源	7	約6%
地域性・演出	7	約6%
交通サービス改善(運行)	10	約7%
交通サービス改善(料金等)	6	約4%
読書・学習	3	約2%
子ども・家族	2	約1%
その他抽象的意見など	33	約24%

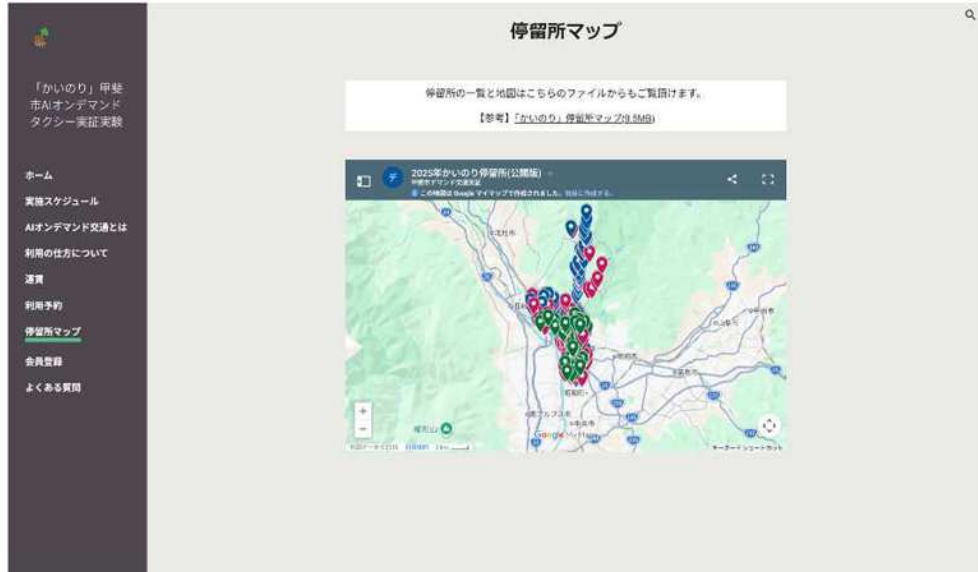
1.実証実験の概要

停留所について

本事業においては、369 箇所の乗降スポットを設置した。

<内訳>

- 自治会内停留所 : 178 箇所
- 甲斐市民バス停留所 : 121 箇所
- その他停留所 : 70 箇所



かいのり専用サイトの様子

1.実証実験の概要

スポンサーについて

今年度においてもスポンサーを募集し、41事業者から計242,000円の協賛金をいただいた。

<内訳>

プラチナスponsor : 10社 計100,000円

ゴールドスponsor : 20社 計100,000円

シルバースponsor : 11社 計 42,000円(1社で数店舗分のスポンサー料をいただいたため)

プラン名	スポンサー料 (税込)	停留所の設置	市HP	停留所マップ	車両
プラチナスponsor	10,000円/79日	○	○	○	○
ゴールドスponsor	5,000円/79日	○	○	○	×
シルバースponsor	3,000円/79日	○	○	×	×

停留所の設置

事業所に停留所を設置します



市HP

市HPにスポンサー名とHPのリンクを設定します



停留所マップ

約3万戸に配布する停留所マップにスポンサー名を標記します



車両

市内全域を79日間運行する車両が走る広告塔になります



1. 実証実験の概要
- 2. 利用実績**
3. アンケート結果
4. 今後について

2.利用実績

登録者の状況

集計期間：令和7年10月1日(水)～令和8年1月10日(土)

集計日数：79日

会員登録者：605人(男性227人、女性372人、無回答6人)

実利用者数：207人

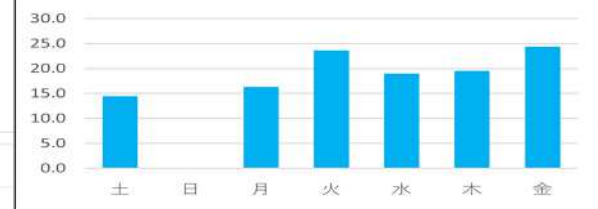
年齢別利用者人数

年代	①年代別登録状況(人)					②予約状況(延べ件数、件)					③実利用人数(人)			④実利用者割合
	人数	10月	11月	12月	1月	計	男	女	計	割合(③÷①)				
0～10才※	6	6	2	4	3	15	2	1	3	50.0%				
11～20才	21	11	15	39	11	76	5	7	12	57.1%				
21～30才	26	5	7	6	1	19	6	6	12	46.2%				
31～40才	52	41	6	7	2	56	5	6	11	21.2%				
41～50才	55	63	47	70	15	195	9	13	22	40.0%				
51～60才	66	30	23	22	5	80	11	12	23	34.8%				
61～70才	77	39	36	49	11	135	10	15	25	32.5%				
71～80才	149	159	165	165	46	535	13	33	46	30.9%				
81才～	153	112	95	129	32	368	12	41	53	34.6%				
計	605	466	396	491	126	1479	73	134	207	34.2%				

月別利用者人数

月	登録人数	運行日数	予約件数	予約件数1日あたり	乗車人数	乗車人数1日あたり	実人数	乗合率
10月末	501人	26日	466件	17.9件	508人	19.5人	114人	1.17
11月末	60人	23日	396件	17.2件	421人	18.3人	114人	1.18
12月末	42人	24日	491件	20.5件	542人	22.6人	137人	1.19
1月10日	2人	6日	126件	21.0件	130人	21.7人	49人	1.11
計	605人	79日	1,479件	18.7件	1,601人	20.3人	210人	1.18

曜日別1日当たり平均乗車人数

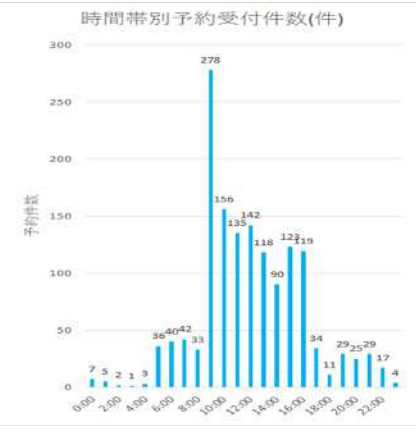


日別利用者数



2.利用実績

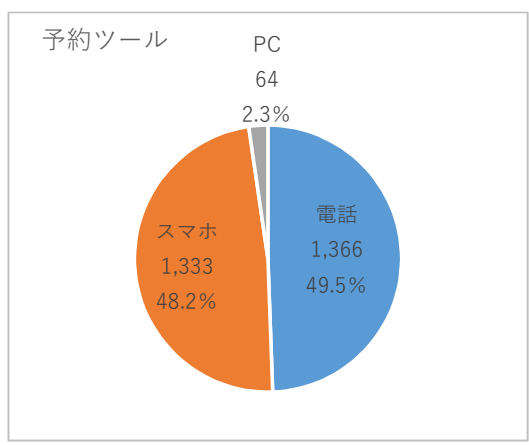
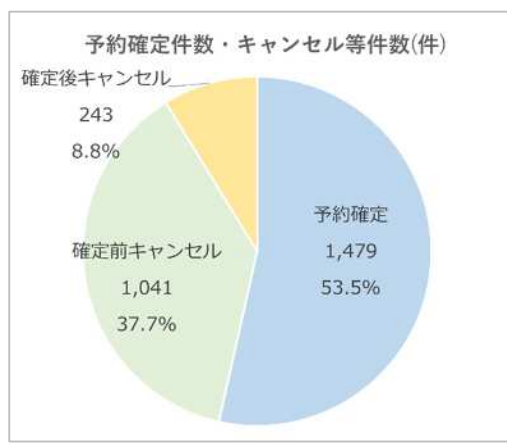
乗車を予約した時間集計



乗車希望時間集計



予約の確定率・予約手段



予約方法ごとの利用年代集計

年代(歳台)	手法別予約成立件数(件)			各年代合計
	TEL	SP	PC	
0	0	15	0	15
10	1	59	1	61
20	0	31	0	31
30	0	57	2	59
40	4	149	0	153
50	7	86	4	97
60	18	141	2	161
70	478	33	4	515
80	342	11	1	354
90	25	8	0	33
各手法合計	875	590	14	1479

※同じIDによる予約試行は全て個別に集計
 ※乗継を含む予約は一つの予約として集計
 ※SPはスマートフォン

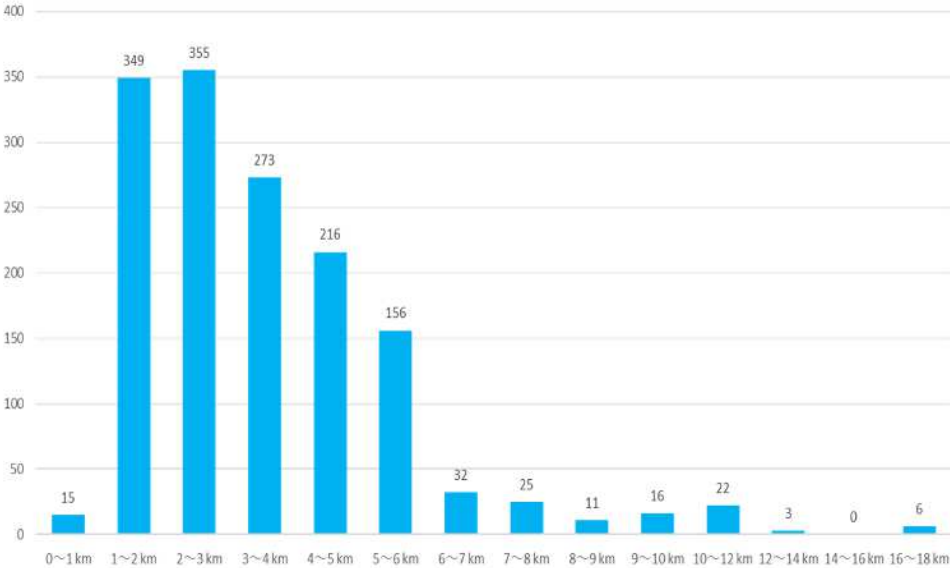
年代(歳台)	手法別予約キャンセル・未割当件数(件)			各年代合計
	TEL	SP	PC	
0	8	4	0	12
10	1	83	0	84
20	81	73	8	162
30	7	110	1	118
40	1	169	3	173
50	8	102	8	118
60	26	137	15	178
70	147	32	13	192
80	196	24	2	222
90	16	9	0	25
各手法合計	491	743	50	1284

※同じIDで複数の手法を用いている場合は個別に集計
 ※乗継を含む予約は一つの予約として集計
 ※小学生以下非会員の同行者指定による年齢不詳4件を除く

	電話		スマホ		PC		合計	
予約確定	875	64.1%	590	44.3%	14	21.9%	1,479	53.5%
確定前キャンセル	384	28.1%	613	46.0%	44	68.8%	1,041	37.7%
確定後キャンセル	107	7.8%	130	9.8%	6	9.4%	243	8.8%
合計	1,366	100.0%	1,333	100.0%	64	100.0%	2,763	100.0%

2.利用実績

運行距離



全予約の運行距離(片道)の平均は3,586m、
最大は16,728m(千田広場～八幡新田1区公民館)

乗合率

月	かいのり1	かいのり2	かいのり3	かいのり4	全号車平均
10月	1.22	1.18	1.07	1.24	1.17
11月	1.16	1.24	1.06	1.27	1.18
12月	1.18	1.11	1.14	1.27	1.19
1月	1.21	1.11	1.04	1.11	1.11

月ごとに、乗降場の各区間内で、平均で何人乗り合わせたかを表示しています。

計算式は下記となります。

$$\text{乗合率} = \frac{\text{乗車時の合計人数}}{\text{合計区間数}}$$

また、一人も乗車していない区間は計上しておりません。

乗車時の合計人数には、指名同乗者は含みますが、人数のみ指定した同乗者数と未予約乗車数は含みません。

[例]

バスが乗降場を「A ⇒ B ⇒ C ⇒ D」と順に移動しました。このうち「A ⇒ B」間では3人、「C ⇒ D」間では1人乗車しておりました。この場合、移動した3区間で、乗車していた区間は「2」であり、合計乗車人数は「4」であるため、乗合率は「4 ÷ 2 = 2 (人)」となります。

1. 実証実験の概要
2. 利用状況
- 3. アンケート結果**
4. 今後について

3.アンケート

1. アンケート実施状況

実施期間 : 2026 年 1 月 26 日から2026 年 2 月 6 日まで

配布数 : 601 通(会員登録者へ配布)

回収数 : 312部(回収率 : 51.9%)

回答者平均年齢 : 67.9 歳

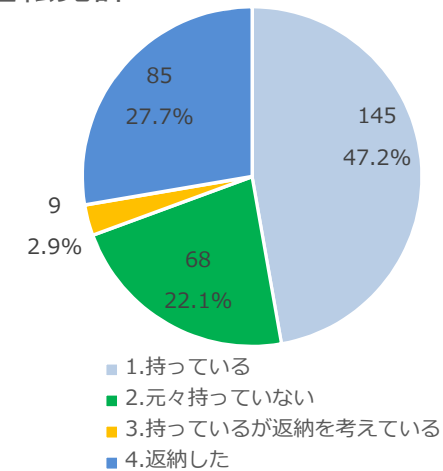
回答者性別 : 男性 110名(35.3%)

女性 192名(61.5%)

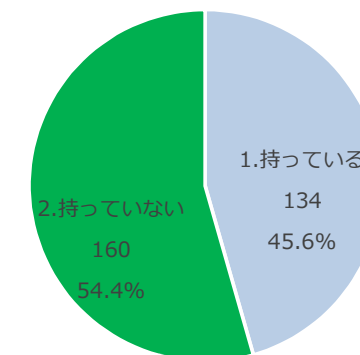
無回答 10名(3.2%)

2. 現在の移動方法について

2-1 (1) 運転免許

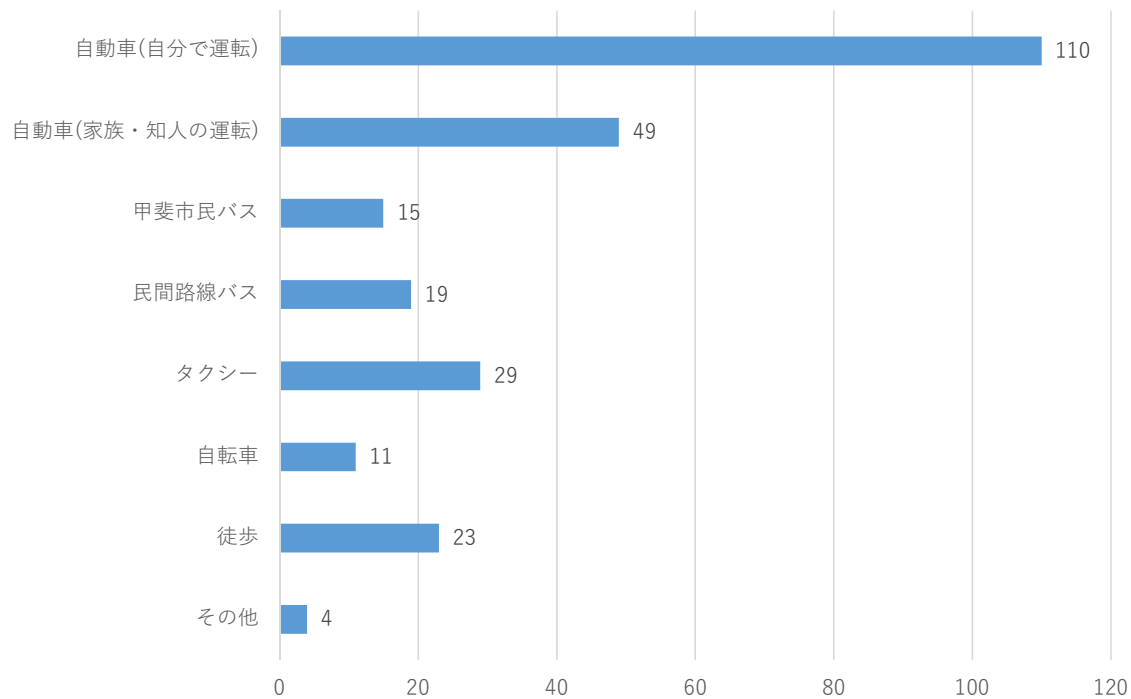


2-1 (2) 車保有

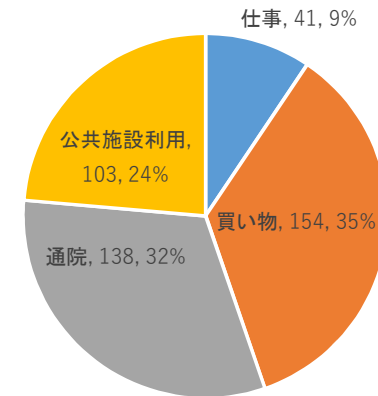


3.アンケート

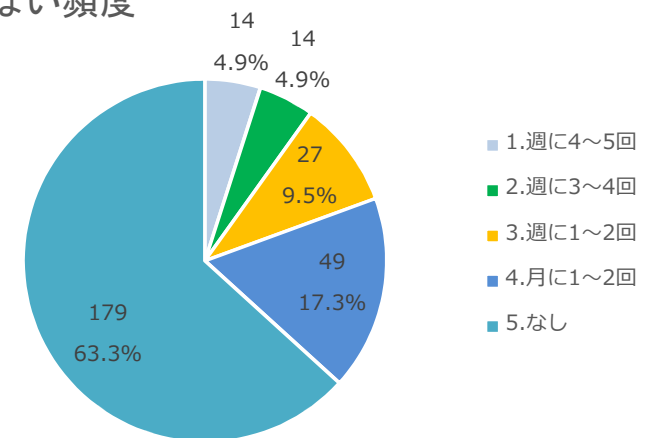
2-2 外出時の移動手段



2-3 公共交通を使った移動の目的地



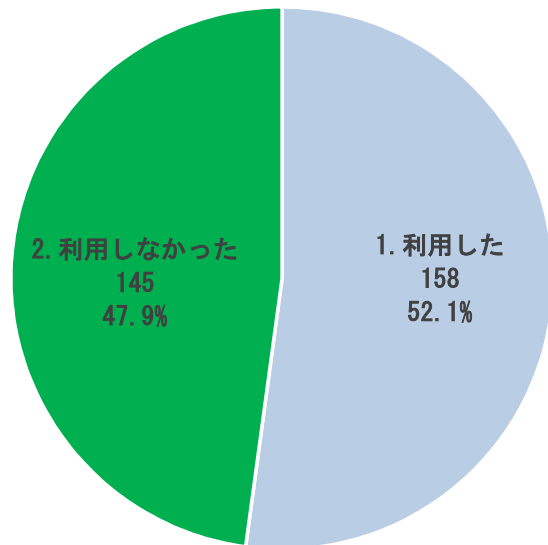
2-4 移動手段が無くて外出できない頻度



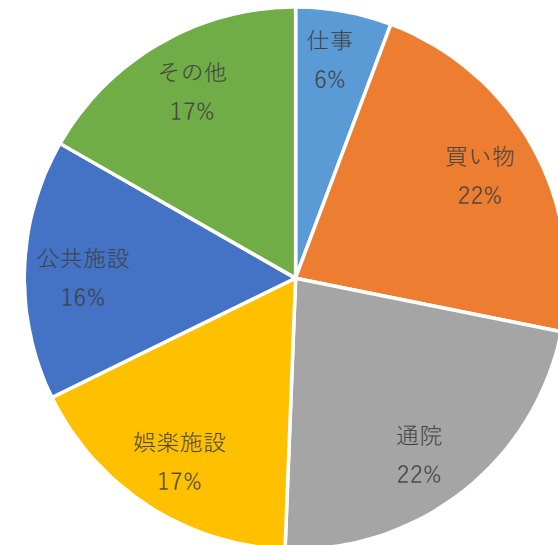
3. アンケート

3. 今回の「かいのり」実証運行の利用状況・取り組みについて（3-2から3-12は、かいのり利用者のみ回答）

3-1 利用状況

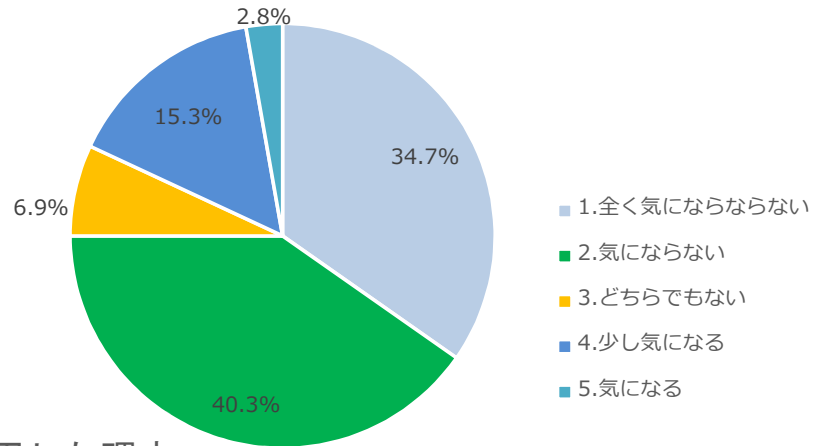


3-3 利用時の目的別行先

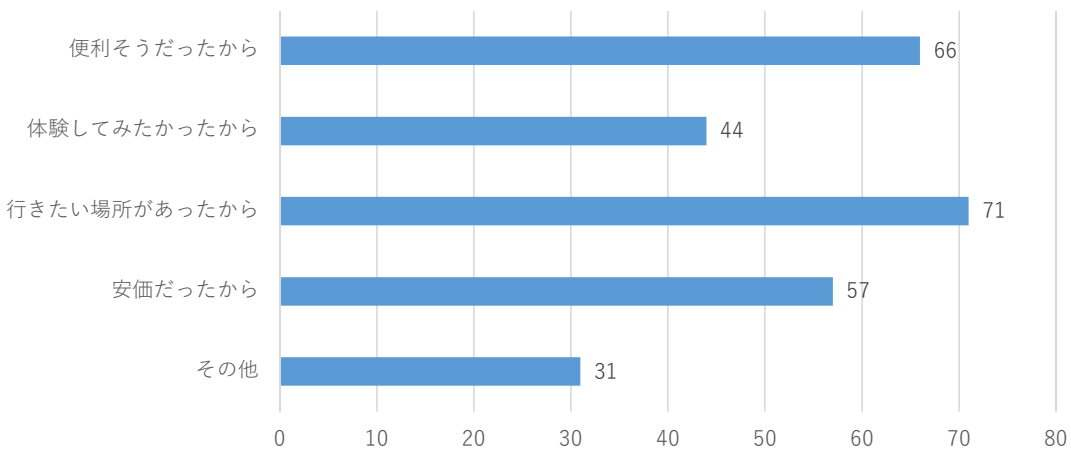


3.アンケート

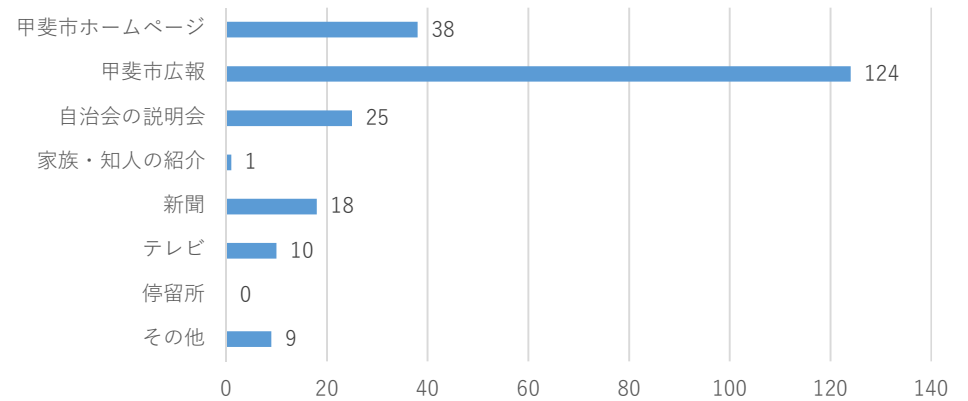
3-4 (2) 乗合への抵抗



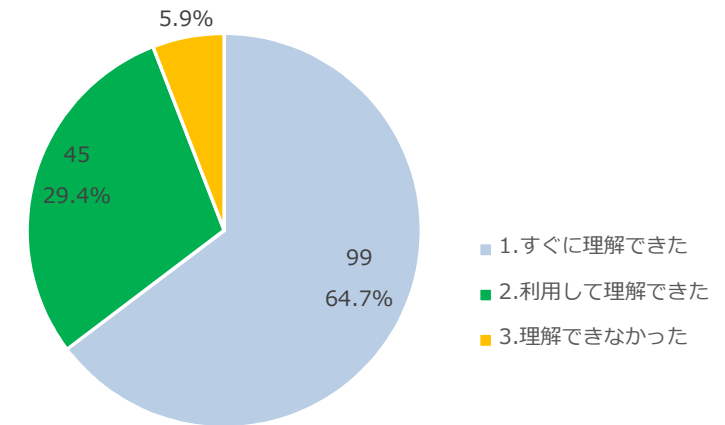
3-6 利用した理由



3-5 実証運行情報の入手方法

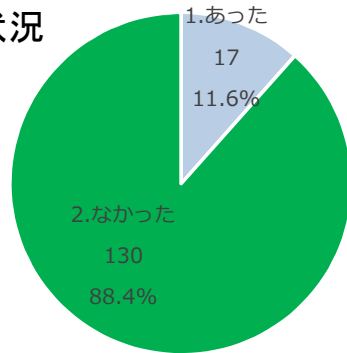


3-7 利用方法への理解

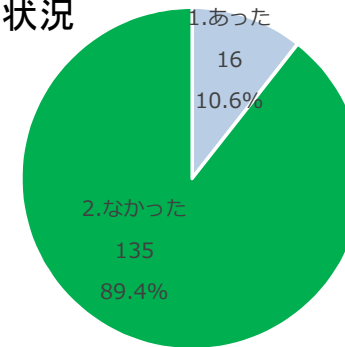


3.アンケート

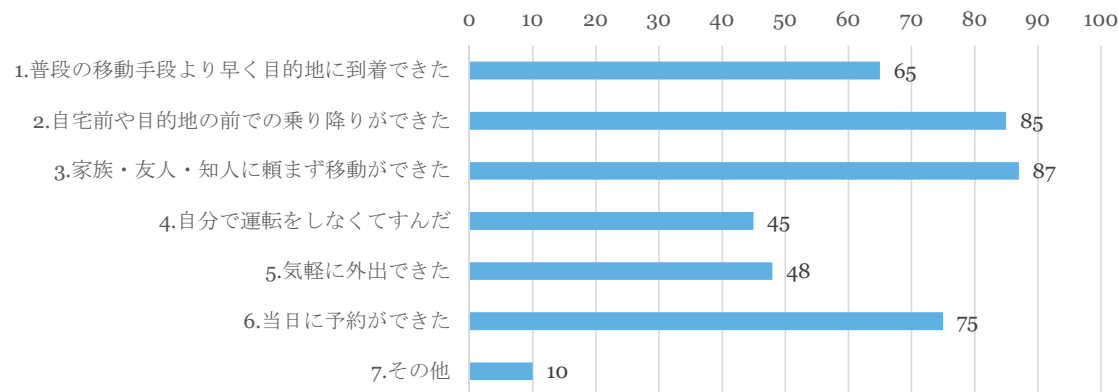
3-8 (1) 電話予約の つながらない状況



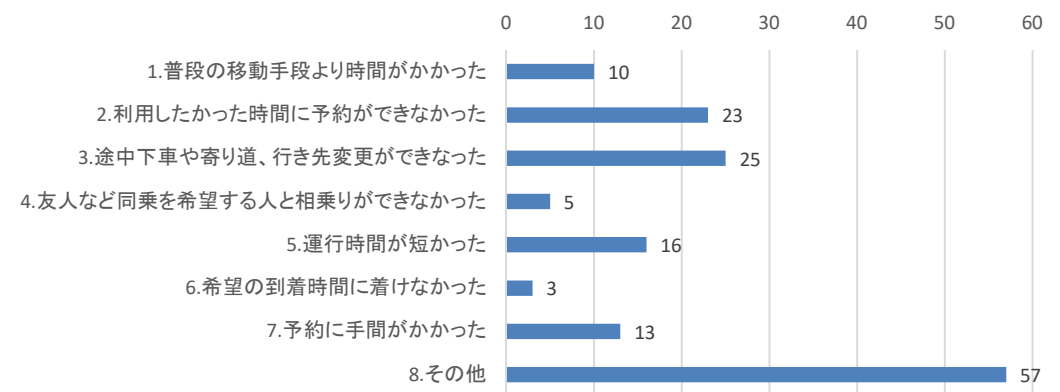
3-8 (2) 希望時間に 予約ができない状況



3-10 今回のサービスを利用して良かった点

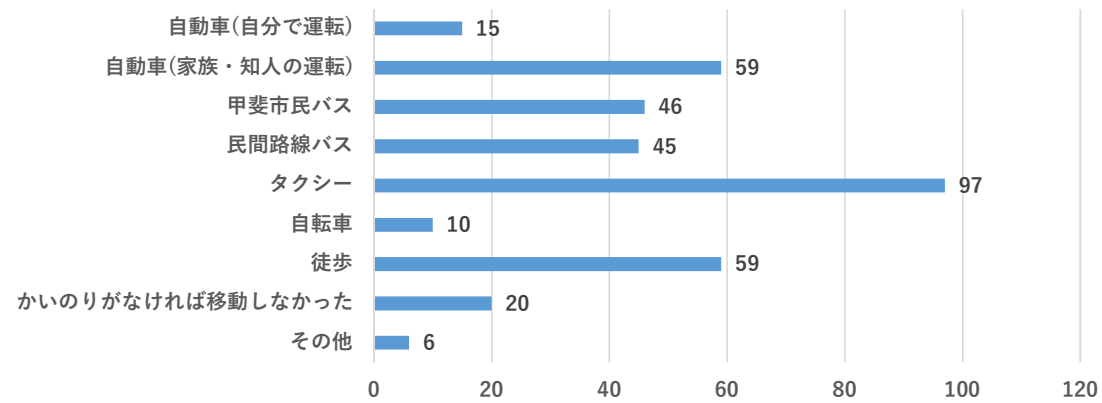


3-11 今回のサービスを利用して不便だと感じた点

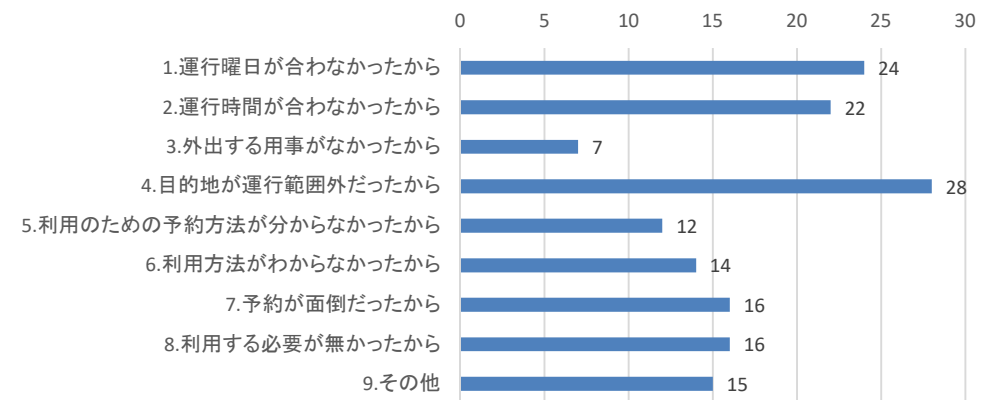


3.アンケート

3-12 かいのりを利用しなかった場合の移動手段



3-13 今回のサービスを利用しなかった理由



3.アンケート

4. 「かいのり」の本格運用について

4-3 改善してほしい点(記述式のため要約)

(1) 運行範囲

- ・ 市内外のスーパーや商業施設、病院、主要駅へ行けるように
- ・ 乗り継ぎなしで別のエリアに行けるようにしてほしい

(2) 運行時間

- ・ 運行時間は7-20時の希望が最も多かった

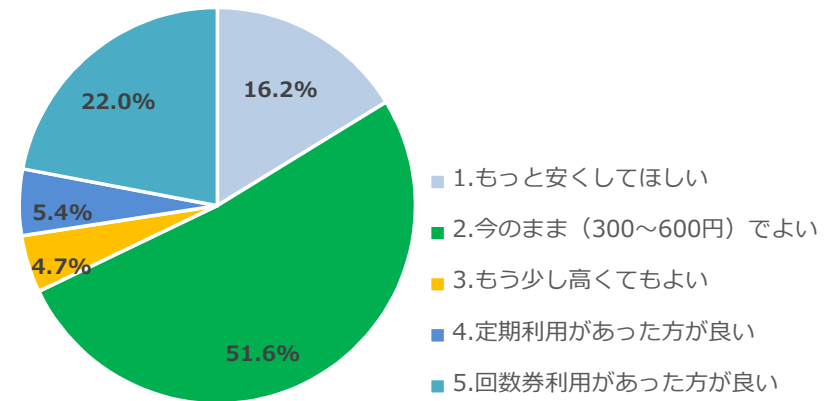
(3) 希望運行曜日

- ・ 毎日が最も多く、次いで土日のみ、平日のみでの運行希望が多くなっている

(4) 予約方法

- ・ LINEやアプリでの予約、予約方法が難しい
- ・ 予約する際の地図が見づらい

4-3 (5) かいのりの希望運賃



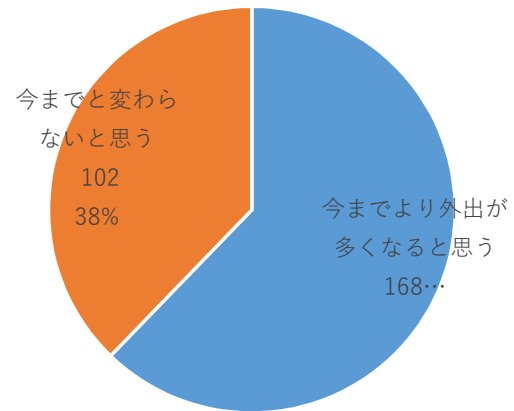
3.アンケート

4-3 (6) その他意見(記述式)

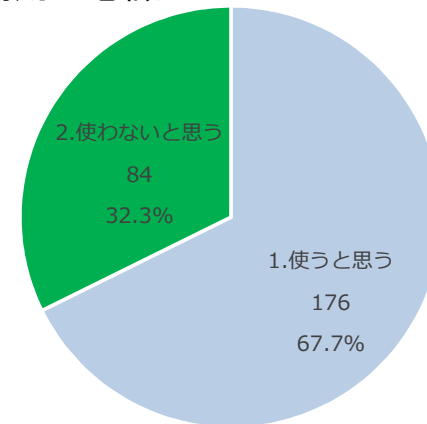
- ・1日券や回数券の発売
- ・ハブ運用をやめてほしい。
- ・安すぎると混み合って利用したい時に予約がとれないかとも思い、現行位が良い。
- ・運行車両を増やし他人との乗合の回数を減らしてほしい。
- ・運行範囲希望が可能になれば1000円程度許容可。
- ・運転免許返納者は半額は助かります。
- ・家族・友人を同乗者として登録可能にしてほしい。
- ・区域をまたいでもステーション乗り換えず行けるようにし、区域をまたいでも近いところは安く行けるようにしてほしい。
- ・甲斐市高齢者福祉バス利用券を使用したい
- ・今まで一人であったが夫婦で乗りたい
- ・今現在自分で運転することが多いけど、免許返納したときにあればよいと思う
- ・社会人が往復で利用できる時間帯にしてほしい
- ・乗り継ぎは不便です。運行エリアを撤廃してほしい
- ・通院の場合、帰りの時間が分からないので、予約をするのを考えてしまう
- ・停車位置を事前に吟味を
- ・同行援護（ヘルパー）の登録は無しとしてほしい
- ・同乗者もまとめて予約できると良いです
- ・日祝日も割増料金を取っても良いので、利用できるとありがたいです
- ・年金暮らしなので今のままで良いです。タクシーに比べ非常に助かっています
- ・毎回予定時刻より15分ほど早く着く。5分程度に見直してほしい。
- ・夜は現行より高くても良い
- ・竜王レディースクリニックへ向かうのに敷島文化会館で乗り継ぎは遠回り
- ・竜王駅での乗り換えを改善してほしい
- ・料金より運行してもらいたい
- ・老人が利用しやすいようネットではなく電話予約、ネットも良いが簡便にしてほしい

3.アンケート

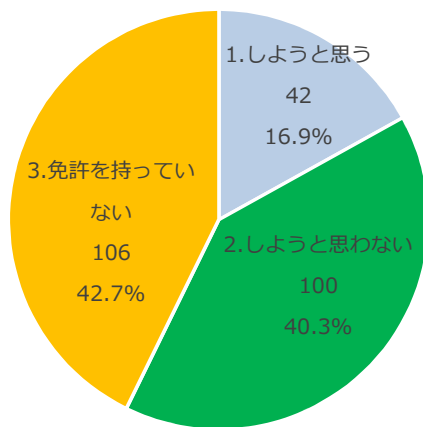
4-4 かいのり運行に伴う外出意識の変化



4-5 かいのり運行に伴う路線バスや市民バスの利用の意識



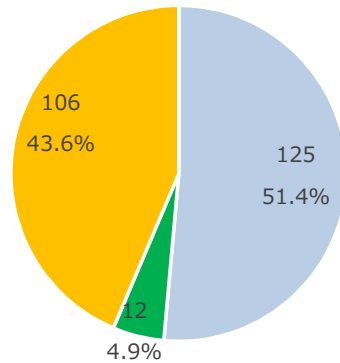
4-6 かいのり運行に伴う免許返納



3.アンケート

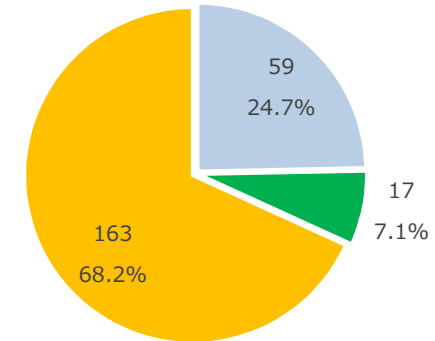
5.「モビリティハブ」に関するアンケート

1. モビリティハブの認知度



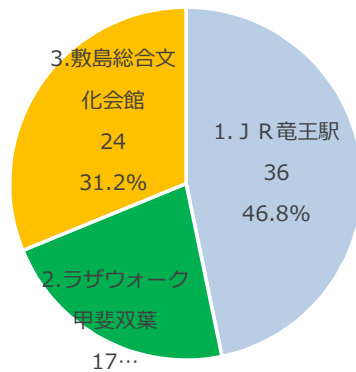
■ 1.元々知っていた ■ 2.イベントを通じて知った ■ 3.知らなかった

2. モビリティハブの利用状況



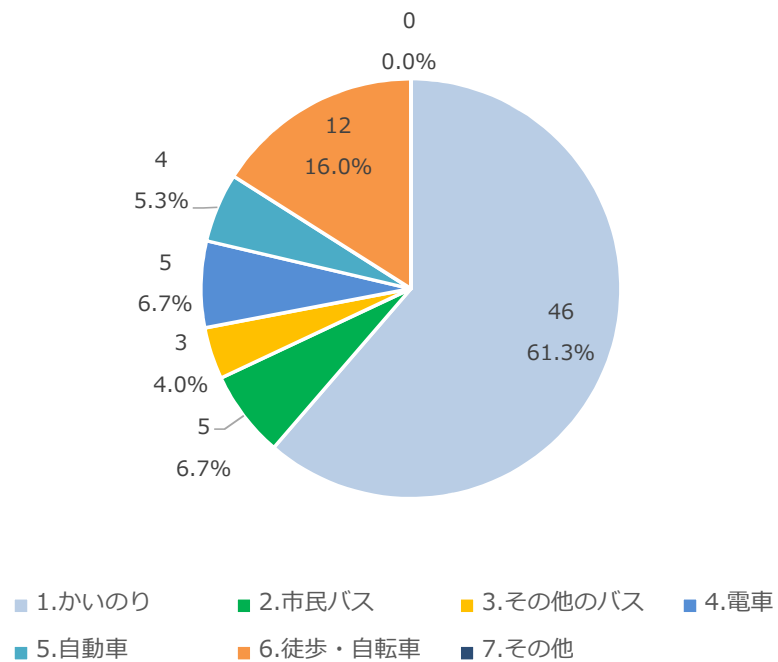
■ 1.利用した ■ 2.利用したかったが行けなかった ■ 3.利用していない

3. 利用したモビリティハブ

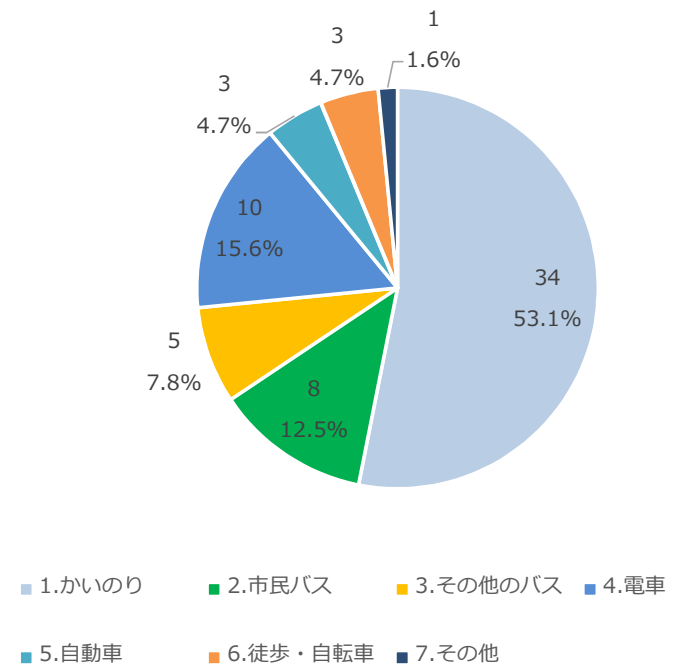


3.アンケート

4 モビリティハブへの移動手段

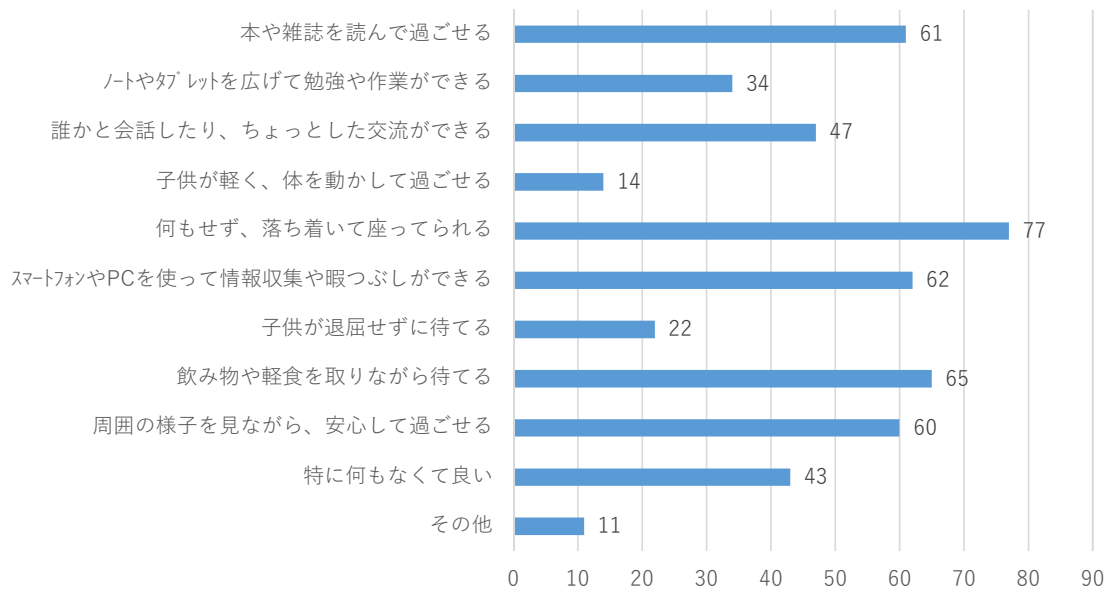


5 モビリティハブからの移動手段

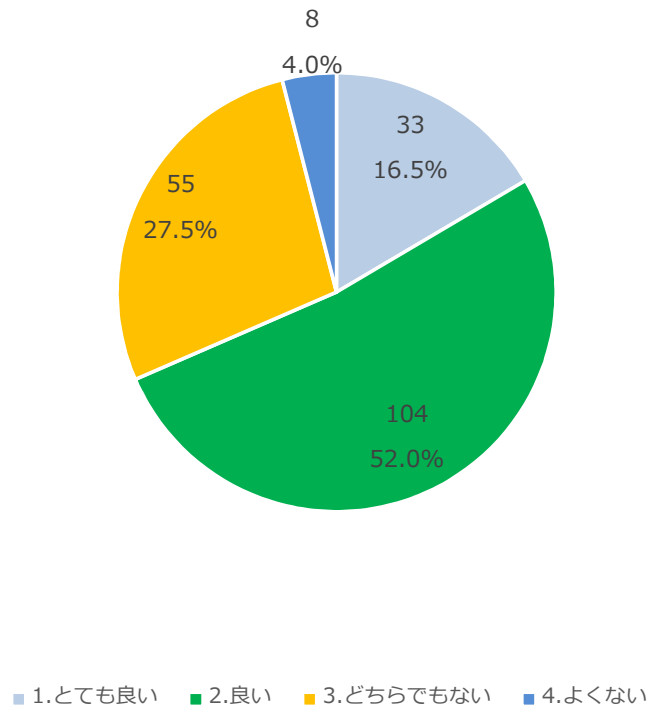


3.アンケート

6 モビリティハブでできたら良いと感じるもの



7 モビリティハブの総合評価



1. 実証実験の概要
2. 利用実績
3. アンケート結果
4. 今後について

4. 今後について

「かいのり」本格実装に向けて次のことを検討する

「本実証で得たデータに基づく公共交通再編」

: 既存の定時定路線バスとAIオンデマンド交通の実用性・効率性が高まる交通モデルを検討する

「AIオンデマンド交通の運用方針」

: 実証実験の結果に収益向上の取組を加え、一定の収支率を確保できる運用方針を検討する

「モビリティハブ、運行エリアの設定」

: 他の公共交通となる接続拠点の整備方針を検討する